



トッケンの
モノづくりの
根っこにある考え方を
シェアする連載

第4回

こどもの生きる力を養う /

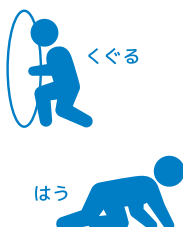
36の基本動作

人間の基本的な動きは 36 種類に分類できると言われています。幼少期にたくさん経験し、バランスよく身につけることが望ましいとされている「36 の基本動作」から、毎回ひとつの動作を取りあげ、その動きがこどもの生きる力にどのようにつながるのか、多角的に検証していきたいと思います。

移動系の動き 「はう」「くぐる」

移動系に属する運動の中で、「重心を低くして動く」という点が最大の特徴です。

「はう」動きは、うつ伏せの状態で移動し、地面との接地面が多いことから転倒しないという点では安心感があります。乳児では移動系はこの動きから始まります。



【解説してくれるのは】

山田秀一 せんせい

㈱総合体育研究所
スキルアップスポーツクラブ

適切な指導と旧来の常識にとらわれることのない発想で、社会体育に新しい流れを切り開く体育・健康づくりのバイオニア。
<https://www.sogo-taiiku.co.jp/>

しかし、二足歩行が安定している幼児にとっては腕や脚、胴体全てを使いながら進むため、摩擦も大きく、かなり負荷のかかる全身運動になります。そのため環境設定を上手くしてあげないと日常生活ではなかなか「はう」の動きは出にくいでしょう。

「くぐる」も同様に一時的に重心を低くしながら障害となるものをかわす動きになりますので、環境設定がポイントです。

トッケンの「はう」「くぐる」遊具



トンネル各種



なかよし輪くぐり



三角ソフトマット

「はう」「くぐる」動きを使った遊び 〈開けゴマ!〉

はう 動き



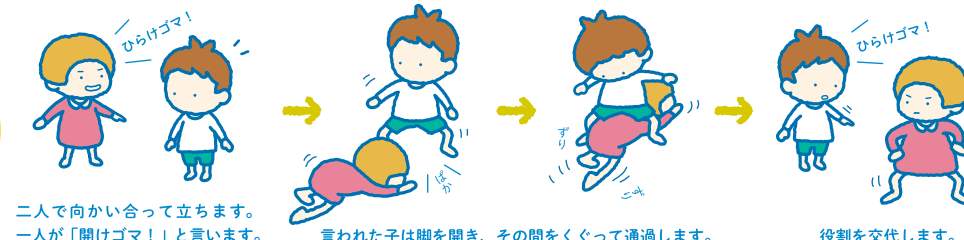
うつ伏せの子のお腹に向かって「開けゴマ!」と言います。

言われた子はお腹を持ち上げ、「開けゴマ!」と言った子は、お腹の下を這って通過します。

うつ伏せの子と交代します。

うつ伏せの子は、下の子が完全にいなくなるまで持ち上げたお腹を下げないようにしましょう。

くぐる 動き



二人で向かい合って立ちます。一人が「開けゴマ!」と言います。

言われた子は脚を開き、その間をくぐって通過します。

役割を交代します。

くぐる子は完全に足の間を通り過ぎるまで立ち上がらないようにしましょう。

・・・ 知っておきたい ・・・

感覚統合

第3回「触覚ってなんだろう？」

基礎感覚のひとつである触覚は危険を察知するほかに、ものを認識したり、心の発達や人との関わりを育てるために重要なはたらきをします。あそびの中で安心して触れられるものや、心地のいい素材にたくさん触れることが大切です。

触覚のはたらき



危険回避

危険を及ぼすかもしれないものに触れたときに、避ける行動や不快な感情を誘発します。



情緒の安定

心地よい触覚の体験はこどもに安心感を与えて、情緒の安定に貢献します。



探索・識別

物の手触りを確かめたり、形や大きさを認知したりして外の環境と関わります。



身体地図の把握

からだの大きさや手足の格好など、からだを動かすときに使う地図をつくります。

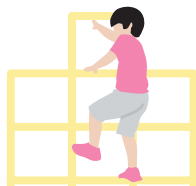


触覚が基礎となる発達



道具を使いこなす

手指から得られる触覚のフィードバックを重ねて使い方を習得します。



運動のコントロール

自分自身のからだを見なくても、目的に合わせて手足を動かすことができます。



安定した対人関係を築く

人の皮膚と皮膚のふれあいには親密な関係を育てる効果が報告されています。

緊急
発売

新型コロナウイルスの飛沫感染対策に！ 最短翌日発送！

ビニール・カーテン

【基本モデル】

大人同士の会話時の飛沫拡散防止に
ちょうどよい長さです。

¥ 1,990 (税別)

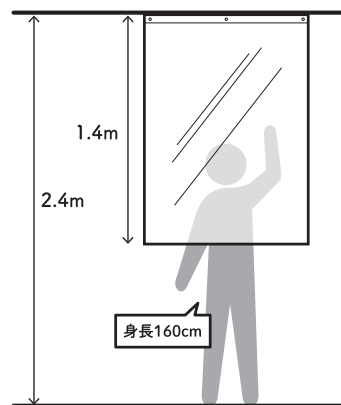
下記はご希望の仕様に
カスタマイズできます。

- 長さ ● 幅
- ハトメのサイズ、数
- ビニールの厚み
(0.15mm~1mm)

※別途お見積もりします。



神奈川県保育園様で
さっそくご活用いただいております。



※標準的な天井高（2.4m）で使用した場合。